

第11回「原子力の業務運営に係る点検・助言委員会」議事概要

- 1 日 時 平成30年10月12日（金） 13：15～17：15
- 2 場 所 九州電力株式会社 本店
- 3 出席者 野口委員長、石窪委員、出光委員、伊牟田委員、松田委員
（社内委員）伊崎委員、長野委員（幹事）コーポレート戦略部門 部長

4 議事概要

- (1) 原子力の業務運営に係る点検・助言委員会、分科会の今後の進め方（資料1）
- これまでの活動状況を踏まえた、委員会および分科会の今後の進め方について、検討を行った。
- (2) 自主的・継続的な安全性向上等に係る取組みについて（資料2）
- 自主的・継続的な安全性向上等に係る最近の取組み状況に関し、以下の内容について、活動の経緯の説明の後、討議を行った。

- I 原子力の安全性

 - 1 原子力発電所の取組み
 - 2 地域防災への取組み
 - 3 自然現象（地震・火山）に対する継続的な調査・観測及び観測体制の強化
 - 4 全社安全推進委員会による安全推進の取組み

II コミュニケーション

 - 1 原子力コミュニケーション活動方針および展開
 - 2 エネルギーコミュニケーション活動の取組み

- (3) 原子力安全性向上分科会、原子力コミュニケーション分科会 報告（資料3）
- 前回の委員会（平成29年12月開催）以降に開催した各分科会の概要等について報告後討議を行った。

〔主な意見等〕

- 別紙「第11回原子力の業務運営に係る点検・助言委員会での提言」参照

以 上

第11回 原子力の業務運営に係る点検・助言委員会での提言

1 原子力の業務運営に係る点検・助言委員会、分科会の今後の進め方

点検 (評価)	○ 平成26年4月の中間報告から4年以上経過していることも踏まえ、次年度の委員会に向けてこれまでの活動を取りまとめ、総括を始めることとする。 また、新たな規制制度への対応についても総括に含めることとし、新たな点検項目の追加や委員会、分科会の今後の進め方については、総括の内容を踏まえて検討する。
------------	---

※ 点検：総括的な評価、助言：委員会の総意としての助言、意見：委員からの個別意見

2 原子力の安全性

点検 (評価)	○ 安全に関する活動について、原子力部門の自主的活動や全社の安全活動の中で原子力の安全を議論する等の新たな活動は、評価できる。 全社安全推進委員会を通して、部門間で保安に関する知見を水平展開するのは良いこと。原子力の安全に他部門の知見を活かすだけでなく、原子力の安全を他部門にも展開することも全社の安全文化の向上には大事である。 ○ 玄海3号機の脱気器からの蒸気漏れについては、長期間停止していたことが与える影響を整理できていなかったことが根本的な原因の一つである可能性がある。現場の点検に頼るだけでなく、安全に関する技術的な問題として捉えて対応してほしい。 ○ 川内1号機1次冷却材中のよう素濃度上昇については、他の電力会社でも過去に同様の事象が発生している。社外の情報もトラブルの予防に活かしてほしい。 上昇後も基準値を大きく下回っていたとのことだが、わずかであっても漏えいしたという事実は重く受け止めなければならない。
助言	○ マニュアルどおりに対応するだけでは不十分。設備の構造等を理解し、イメージしながら操作できるよう社員を教育しておくことが重要。 ○ 廃炉作業が進むと通常運転時とは違う業者や機器が搬入されるなど、発電所内の環境が変わる。そういった変化があった時に事故は起きやすくなるので、発電所内の安全を維持できるよう配慮する必要がある。 ○ 火山灰対策については、雨が降った場合の対応や貯水池から正常に取水できるかなど、さまざまな状況を想定し対策を充実させてほしい。

意見	○ 破局的噴火の他にも、桜島大正噴火と同規模の噴火が起きても、発電所の安全性に影響はないことを発信した方が安心につながる。 ○ 火山が噴火した際の対応について、発電所の安全性に影響がないレベルの噴火であっても、迅速に自治体や周辺住民へ情報伝達する仕組みを確認しておいた方がよい。 ○ 地域防災について、避難計画や九州電力が実施している支援に関する情報発信が不足していると感じる。自治体と協力し、情報発信することで市民の不安解消につなげてほしい。 ○ 地域防災への支援については、支援に割ける人手にも限りがあることや、従業員の安全を確保することにも配慮しておく必要がある。
----	--

※ 点検：総括的な評価、助言：委員会の総意としての助言、意見：委員からの個別意見

3 コミュニケーション

点検 (評価)	○ コミュニケーションに関する活動は、これまでの点検・助言委員会の意見も反映し、進歩している。
助言	○ 訪問活動において、原子力に対する関心が薄い方に対しても、アンケートの活用等により積極的に意見を伺おうとする姿勢は今後も継続してほしい。関心が薄い方には関心を持って頂くよう、より工夫して対応していくことが必要。 ○ 再エネが普及すると原子力は不要ではないかと考えている方も多いので、再エネの出力制御等については今後もしっかりと説明していく必要がある。
意見	○ 電力会社の最大の目的は安定供給であり、エネルギーミックスはその手段のひとつ。エネルギーミックスの理解を拓げることも大切だが、安定供給という目的をより強調した方が、再エネの出力制御等についても理解を得られるのではないかと。 ○ 次世代層向けの見学会やイベントは、夏休みなどニーズが大きい時期に実施するのは効果的である。

※ 点検：総括的な評価、助言：委員会の総意としての助言、意見：委員からの個別意見

以 上